

講 神実様並に霊様 鎮座祭祭文

これの新婚住宅の新たな神床に改めて厳かにお鎮り下さいました。くにとこたちのみこと をもたりのみこと くにさづちのみこと 月よみのみこと くもよみのみこと かしこねのみこと たいしょく天のみこと をふとのべのみこと いざなぎのみこと いざなみのみことなる親神天理王命の御前に併せて 今日のおよき日静かにお遷し申しました 家先祖の霊 故 大人之霊 故 刀自之霊故 大人之霊 故 刀自之霊の御前に慎んで申し上げます

親神様には私達人間の上に片時の休みもなく親心深くお働き下されお蔭様で毎日明るく陽気に暮させて頂き感謝の念に堪えません 殊には 講の講元なる 氏は去る

月 日 氏と芽出度く婚姻の式を挙げられ 此れの 都 区 町 番地 号に新世帯を構えられました。が この喜びづくめの機会に親神様教祖の大恩へのご恩返しはもとより 血のつながりによる先祖への 心新たに親孝心の真実を積み上げるべく講名を 講と改称し講元を主人の 氏に変更し 家の先祖の霊様を只今お遷し申し 朝な夕なその御恩に報いる努力をお二人でお誓い下されたのでございます

これより後は一段とめい／＼の心のふしんに励むと共に学校に於ける子弟の教育を芯とし広く地域社会の幸せを増進すべく にをがけおたすけを通しての理の上の成人にも心掛けて頂きますが どうか親神様にはこの一同の真心を充分にお受け取り下さいますして この周辺に陽気ぐらしの実が次々と拡がって参りますよう お導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます